

事業計画書

事業名	ぬまづろう乳幼児支援事業の実施に向けた研修活動
実施場所	サンウェルぬまづ ほか
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年 4月 日 ~ 2021年 3月 日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

ろう児が乳幼児期に手話と触れ合える手話獲得支援の事業化を目指し、先進事例の視察、研修会の開催、保健師や保育士等の人材の確保を通じてろう乳幼児に対する理解を深めるとともに、手話獲得支援の技術を習得する。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

ろう児が誕生しても、親が健常者で手話ができない場合などは、誕生したろう児がろう者の母語である手話に出会う場が少なく、ことばの習得が遅れる心配がある。

ろう児が乳幼児期に手話と触れ合える手話獲得支援の事業化が求められているが、現在のところ、地域で手話の獲得・習得を支援できる体制が整っていない状況である。

本事業では、研修活動や講演会の実施を通じて、手話を獲得できないためにアイデンティティを持って成長するろう者がいることや、ろう児やその家族が手話と出会う場の重要性を認識し、広く共有するとともに、ろう乳幼児やその家族の手話の獲得・習得を支援する技術を習得し、次年度以降の事業化を目指す。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
2020年 4月	第1回研修会 協議会スタッフ11人+外部スタッフ（保健師・保育士等）
6月頃	先進事例視察研修（大阪府） 大阪府・大阪聴力障害者協会 乳幼児手話獲得支援事業「こめっこ」
9月	第2回研修会
10月	第3回研修会
2021年 1月	第4回研修会

2月	講演会・第5回研修会
3月	第6回研修会

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

乳幼児期にろう児やその家族が手話と出会う「場」はこれまでほとんど存在しなかった。将来的にこうした場を生み出すことで、当事者たちは手話や身ぶりを使って伝わった、という経験を積み重ねることができ、また、親同士の交流やろう者との出会いを通じて悩みを共有したり、相談したりできる。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 研修会の開催 6回以上	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 開催回数をカウント
------	-----------------------------------------------------------	-------------	----------------------------------

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 全日本ろうあ連盟は、2019年11月の理事会で「ろう乳幼児等支援対策チーム(仮称)」の発足を決めた。沼津市手話言語条例の施行の意義とともに、手話獲得支援事業を展開することで、共生社会の実現に近づく。
地域性	※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 静岡県は新生児聴覚スクリーニングから人工内耳装着の道筋に至るモデル県と言われている。人工内耳を否定するものではないが、人工内耳とともにろう者の母語である手話の獲得の取組が必要であると考える。
先導性	※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 手話獲得支援の事業化自体があまり事例のない取組である。また、ろう者やその関係団体だけでなく、子育て支援に関わる保健師や保育士等と共に研修することで、手話獲得の必要性にとどまらず、「聞こえないこと」についても広く伝えることができ、共生社会の実現につながる。
発展性 ・ 継続性	※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについてどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 地域の中でかかわりを築きづらく、孤立しがちなろう児やその家族が地域との連携を図るきっかけになる。
実現性 ・ 妥当性	※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 本会スタッフ11人と外部スタッフで研修内容を共有したのち、視点を明確にして視察を行う。その後研修を重ねて、沼津独自の事業の展開を目指す。
活動に対する 熱意	※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 これまで、手話言語条例の制定に向けて精力的に取り組んできた。条例施行が現実となった今、ろう乳幼児支援事業を早急を実現するため、スタッフ全員が従来以上に熱意を持って取り組む姿勢である。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

本事業により習得した技術を活かし、誕生したろう児が、乳幼児期から家族と共に手話を自然に身に付けられるよう、ろう乳幼児の手話獲得支援を事業化したい。
また、ろう児とその家族が安心して相談できる場も作っていききたい。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。